

チームで取り組む

包括的呼吸リハビリテーション最前線

講師 **海老原 覚**

先生 (東北大学大学院医学系研究科内部障害学分野 教授
東北大学病院リハビリテーション科 科長)

座長 **中島 英樹** 先生

(東京都立豊島病院 リハビリテーション科 部長)

定員
50名

参加費
無料



日時：2023年 **10月19日** (木)

18:00 ▶ 19:30

会場：オンライン開催

ご略歴

平成2年 東北大学医学部卒業
平成6年 東北大学医学部第一内科大学院卒業
平成8年9月 カナダ McGill 大学留学(Meakins-Christie 研究所)
平成12年2月 東北大学医学部附属病院老年・呼吸器内科 助手
平成19年4月 東北大学病院老年科 助教
平成21年7月 東北大学病院内部障害リハビリテーション科 講師
平成26年1月 東邦大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 教授
令和4年4月 東北大学大学院医学研究科内部障害学分野 教授
令和5年4月 東北大学病院リハビリテーション科 科長

対象：

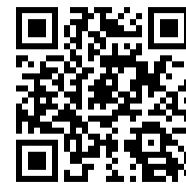
PT・OT・ST 等のリハビリ職

申し込み方法：

右記 QR コードまたは下記 URL の
申し込みフォームよりご登録ください

<https://forms.office.com/r/PupWzJn4LE>

定員になり次第〆切りとなります



《講師より》

呼吸リハビリテーションは短期間の運動療法のみだと効果が薄く、通常の呼吸器診療における医師による薬物療法と酸素療法に加えて、コメディカルによるアプローチを加えることが重要である。慢性呼吸器疾患において呼吸リハビリテーションが大きな効果を発揮する最大の機序は、運動療法を核とする呼吸リハビリテーション介入により、「呼吸困難→不活発→筋力低下→呼吸困難さらに増悪」という悪循環（負のスパイラル）を逆方向に回転させることによる。この運動は慢性呼吸器疾患では呼吸困難によって制限される。したがって慢性呼吸器疾患に対するリハビリテーションの運動療法成功の秘訣はこの呼吸困難を如何にコントロールするかにかかってくる。本講演ではこの呼吸困難をコントロールする、原疾患によらない非特異的方法の数々を紹介する。さらにそれらを用い、チーム医療にて包括的に取り組む呼吸リハビリテーションのあり方と重要性について詳述する。

主催：区西北部地域リハビリテーション支援センター 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立豊島病院

【問い合わせ先】 東京都立豊島病院患者・地域サポートセンター地域連携支援グループ

区西北部地域リハビリテーション支援センター 菅原・波多野

Tel:03-5375-1234 (代)